

大会名称: 東日本大震災復興支援  
第36回李相佰盃日韓学生バスケットボール競技大会

開催場所: 福岡市民体育館

試合区分:

期 日: 2013(H25)年5月18日(土)

主審: 相原 伸康

開始時間: 14:00

副審: 平原 勇次・大山 直輝

終了時間: 15:40

JAPAN (0勝2敗)	● 67	20 -1st- 21 13 -2nd- 16 17 -3rd- 19 17 -4th- 32	○ 88	KOREA (2勝0敗)
-----------------	---------	--	---------	-----------------

東日本大震災復興支援第36回李相佰盃日韓学生バスケットボール競技大会第2戦。第1戦を落とした日本学生選抜は負けられない一戦。終始互いに譲らず、互角の戦いを繰り広げる。前半、日本学生選抜は相手の高さや身体能力に苦しむ時間帯もあったが、ディフェンスやリバウンドから、流れをたぐり寄せ喰らいつく。後半、粘りを見せた日本学生選抜が一度は逆転するも、韓国学生選抜が、外角シュートを連続して沈め、日本学生選抜に付け入る隙を与えず試合終了。88-67で韓国学生選抜が勝利し、優勝を手にした。

第1ピリオド、韓国学生選抜は高い能力を活かして、積極的に1on1を仕掛け、リードを奪う。対する日本学生選抜は、スクリーンプレイからノーマークを作り出し、効果的に得点し追いかける。中盤から日本学生選抜は、#11野本や#13坂東の3Pシュートと#6字都のドライブで、韓国学生選抜は高確率の3Pシュートと長身を活かしたインサイドプレイで互いに得点し、21-20と韓国学生選抜リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、序盤、韓国学生選抜は#10Kim、#8Baeの連続3Pシュートが決まり、一気にリードを広げる。苦しい時間帯が続いた日本学生選抜だが、中盤、#9藤高がファウルを貰いながら、豪快なダンクシュートを沈めると、日本学生選抜は波に乗り、さらに激しいディフェンスから得点を加えし、ビハインドを4まで縮める。37-33と韓国学生選抜リードで後半へ。

第3ピリオド、互いに相手のディフェンスを切り崩せず、2分間ノーゴールの膠着状態となる。その均衡を破ったのは日本学生選抜。#15鷗が3Pシュートを沈めると、#6字都が個人技で続き、さらに#13坂東が3Pシュートを沈め、遂に逆転に成功する。しかし、韓国学生選抜も#9Moonの3Pシュート、#14Kangのインサイドプレイなどで連続得点するとリードを奪い返し、56-50、韓国学生選抜リードで第3ピリオドを終了。勝負は第4ピリオドへ。

第4ピリオド、序盤、韓国学生選抜は、相手のターンオーバーから確実に得点し、リードを二桁まで広げる。終盤、早く追いつきたい日本学生選抜は、#13坂東が連続で3Pシュートを決め、反撃の狼煙を上げるが、韓国学生選抜に連続3Pシュートを決め返され、万事休す。88-67で韓国学生選抜が勝利した。